

絶好の機会も負担重く

古い耐震基準で建てられた木造住宅の耐震工事補助に三十万円を上乗せする制度が始まる。対象は、新耐震基準が施行された建築基準法改正の一九八一（昭和五十六）年六月より前の建物。財源は昨年成立した国の補正予算だ。通常の補助は最大六十万円だが、制度を活用すれば最大九十万円まで増額される。申込期限は三月末までと迫る。耐震工事を考える人にとっては絶好の機会だが…。

(中村 慎一郎)



耐震工事をすることに決めた大岩さん宅＝南知多町内海で

制度活用二の足も

南知多町内海の女性・二四。震度5強で大うと五百万円以上が必要(六)は退職後、二階建破、6弱で倒壊する強要と分かった。「補助で木造住宅で母親(六)度だった。」

と二人暮らし。住宅は女性が当初想定して以上の資金が必要と少なくとも築六十年以上いた工事費は三百万ため息をつく。

上。町から案内をもらい。補助の増額がある。女性に子どもはいなくて無料耐震診断をし、ことを知り、あらため。女性と母親の後にたごころ、判定値は〇で見積もりをしてもうこの家に住む人は決ま

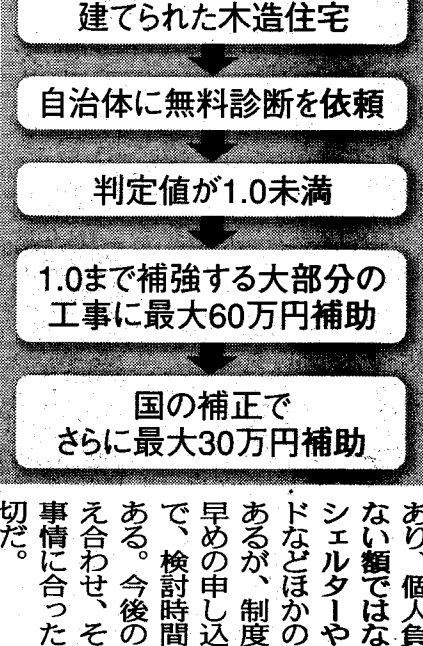
っていないといい、その家に「四百万円以上をつぎ込むとなると、二の足を踏んでしまう。女性は現在、家の一部だけを強化する耐震シェルターや中古マンション購入も考えている。

「耐震工事はこれからの生き方の問題。どう生きていくかを決めなければ、工事をする

自治体ごとに枠 お早めに

「将来、この家に孫が住むかもしれない。それを考えれば、今、工事をしたい。制度だが、あくまでも工事費の一部補助であり、個人負担は少ない額ではない。耐震シェルターや耐震ベツドなどほかの選択肢もあるが、制度活用には早めの申し込みが必要で、検討時間に限りがある。今後の人生も考え合わせ、それぞれの事情に合った判断が大切だ。」

耐震工事の補助の流れ



参敗 執行部の退陣論流出

村氏が率いる地域政党「日本一愛知の会」の推薦を受ける意向を「二年度全国大会の実績不足」と批判。グに加盟したばかりで

かどうよしみ(5歳) 自家発電するから

妹ハカーエールのう 島美智子

P O 法人奥矢作森林塾が参加者を募っている。体験は、同NPOが昨年、古民家を改修して開校。当日は前10、後3、まき割りやかまど炊き、五平餅とあった田舎料理を楽しむ。対象は男女各8人ほどで参加費は1000円。●矢作レクリエーションセンター内のNPO事務局1電0573-241113

●労働者の悩み特設相談会 11月12日の前10、後4、無料電話相談 51-866

●参加は愛知、岐阜、三重、長野、福井、静岡の六県二十二団体に広がった。県内のご当地グループ十一団体も出る。

新橋の上り車線 来月12日に開通

矢作全面開通へ